

教育の力



会津教育事務所
所長 原 田 博 司

少し前になりますが、あるニュースに惹きつけられました。「あの職業は本当になくなったのか」十年前の二〇一五年に「AI人工知能に奪われる職業・日本の労働人口の四十九%が代替可能に」との見出しで、その内容が大きな話題となりました。出所はシンクタンク事業を手掛ける野村総合研究所でした。当時、このような場でもよく使われた話題だったと記憶しています。あれから十年、結果はどうだったか……。その当時なくなると予想された職業として、介護職員、保育士、調理人、自動車整備士、建設作業員、警備員、タクシードライバーなど、百種類の職

業があげられましたが、それらはなくなつたとも聞きませんし、中には人手不足のため、外国からの労働力に頼っている状況さえもあります。一方、代替性の低いとされた職業として、アナウンサー、CGデザイナー、漫画家、フリーライター、レジ係などがあげられていました。逆にこれらは生成AIの登場やハードの進化により代替が可能と言われています。つまり、予想は大きく外れたと言わざるを得ません。これだけ急速に生成AIが進化することを予測できなかったのでしょうか。まさに、誰も予測できない世の中となっています。

令和四年四月から県教育長を務められた大沼博文先生がこの三月で退任されました。退任にあたり、ウェブ上の県教委公式ノートに教育に対する思いを残されました。一部紹介します。「教育は、未来を創造する営みである。子どもたちが夢や希望をもって生きられる社会、生き生きと主体的に学ぶことができる学校の環境を整えていくのは、家庭や地域を含めた私たち大人の責任である。私は、いつの時代にあっても、またどのような社会にあっても、教育や学校がもつ力を信じている……」これを讀んだ私は、胸が熱くなり、物凄くパワーをもらいました。目まぐるしく変化する社会や価値観の中を歩まなければならぬ現代の子どもたち、その子どもたちの教育に責任をもたなければならぬ私たちこそが、教育の力を信じなければなりません。この先、どんな世の中になろうが、生き抜く力を育むための教育、そのことに邁進する覚悟です。



2025.6.13
第187号

発行
福島県市町村教育委員会
福島県教育委員会
北会津支部
北会津支部
北会津支部

編集
福島県教育庁
会津教育事務所

編集協力
小・中学校長会

管理関係重点事項

令和七年度「会津教育事務所推進プラン」の視点⑥「持続可能な教育環境づくり」の取組により、教員の力、学校の力が最大となるよう、域内市町村教育委員会や学校、地域、関係機関との連携を密に図り、管理業務を推進してまいります。

1 教職員の心身の健康保持や児童生徒と向き合う時間・自己研鑽の時間を確保するため、管理訪問等の指導助言により「教職員働き方改革アクションプラン」に基づく取組の推進を図ります。

○ 昨年度までの「モニタリング校支援事業」における成果の普及や、域内義務教育諸学校における働き方改革に関する取組例の紹介等を通して、業務の効率化や教職員間の業務の平準化を推進するとともに、各学校の実態に応じた業務改善の取組を支援します。

2 学校全体の教育力向上を図るため、校長研修会等において内容を充実させ、校長によるチームとしての学校マネジメントが機能するよう支援します。

○ 各種会議や所長・管理訪問等での指導助言を通して、校長のリーダーシップによる学校マネジメントの強化に努めます。

3 域内服務倫理対策会議等、様々な機会を捉えて管理職としての危機管理意識の向上や教職員の倫理観・使命感の高揚を図る取組を支援します。

○ 令和七年三月策定の「不祥事根絶プロジェクト」の趣旨及び取組内容を周知するとともに、「信頼される学校づくり」を職場の力で（令和七年三月改訂版）等の活用促進や、危機管理に係る情報提供に努めます。

会津教育事務所は、学校課題の解決が図られるよう、市町村教育委員会と連携して人事業務を推進するとともに、学校・家庭・地域が一体となって人間性に満ちた人材の育成に努める「会津の教育」を支援してまいります。

社会教育関係の重点事項

～家庭の教育力・地域の教育力の向上を目指して

○個人と社会の Well-being（一人一人の多様な幸せと社会全体の幸せ）の実現

（R 7 福島県教育庁 社会教育課事業全体構想より）

（R 7 会津教育事務所推進プランより）

○人間性に満ちた人材の育成

1 家庭教育の推進

都市化や核家族化、ひとり親家庭や共働き家庭の増加、地縁的つながりの希薄化など、家庭教育を支える環境が大きく変化しています。会津の家庭教育の課題について協議する「地域家庭教育推進会津ブロック会議」では、これまで、「メディアコントロール」や「不登校支援」をテーマに協議を進め、「会津版スマホSNS検定」や「家庭教育リーフレット」を作成してまいりました。本所HPより、各種資料をダウンロードすることができますので、PTAの研修会等で活用していただきますようお願いいたします。（右下の会津教育事務所HPのQRコードより）

また、昨年度より、「豊かな人間性を培う親子のコミュニケーション」をテーマに、「家族との食事のとり方」や「メディアとの付き合い方」など様々な視点から、親子のコミュニケーションの在り方を探るための方策について協議を進めてまいりました。今後は、その協議内容をもとに、親子のコミュニケーションの大切さを広める広報ツールを作成し、会津域内の家庭へ広く発信してまいります。

2 地域の教育力の推進

近年、学校では、いじめや暴力行為等の問題行動の発生、不登校児童生徒数の増加、特別な支援を必要とする児童生徒数の増加など、多様な児童生徒及び保護者等への対応が必要な状況となっています。また、地域においても、家族形態の変化、価値観やライフスタイルの多様化等により地域社会における支え合いやつながりが希薄化することによって、地域社会の停滞や教育力の低下などが指摘されています。

そうした状況の中、学習指導要領の目指す「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、学校と地域社会が相互の連携・協働のもとに学校づくりと地域づくりを進め、一体となって児童生徒の成長を支えていくことが求められています。

会津域内の各地域の実態や特色を生かした取組が一層充実されるよう、関係者間の理解促進、連携強化のため下記の研修会を開催します。ぜひ御参加ください。

※ 各研修会の内容や申込方法等については、随時本所HP等で御紹介します。

- | | |
|-------------------|----------------------|
| ○ 地域連携担当教職員等研修会 | （対象：教員、教育行政に関わる方等） |
| 期日 令和7年 7月 3日（木） | 会場：会津若松市北会津公民館 |
| ○ 読書活動支援者育成事業研修会 | （対象：読書ボランティア、教員、司書等） |
| 期日 令和7年 7月 16日（水） | 会場：会津若松市北会津公民館 |
| ○ 家庭教育支援者地区別研修 | （対象：家庭教育に関心のある方等） |
| 期日 令和7年 7月 30日（水） | 会場：会津若松市北会津公民館 |
| ○ 地域学校協働研修会 | （対象：地域学校協働推進員等） |
| 期日 令和7年 9月 3日（水） | 会場：会津若松市北会津公民館 |



会津教育事務所
ホームページ

令和7年度 会津教育事務所 指導の重点【前期】

会津の強み【令和6年度の学校訪問や各校の学力向上の取組、各種研修会協議から】

- 1 児童生徒のつまずきによる「悩み」に寄り添い、「思い」や「願い」を丁寧に拾いながら授業が展開されるなど、授業改善の意識が広がりつつある。教職員が一丸となって授業改善に取り組んでいる学校が増えている。
- 2 ペアやグループによる学び合いなど、学級全体で交流する言語活動を工夫した授業が見られる。
- 3 生徒指導の機能を生かしながら、児童生徒が互いに認め合えるような学級集団づくりに取り組んでいる学校が増えている。
- 4 ユニバーサルデザインの視点を大切に授業づくりが行われている。児童生徒が「分かる・できる」授業を目指した授業実践が増えている。

会津の課題【令和6年度全国学力・学習状況調査結果、学校訪問等から】

- 1 全国平均正答率と比較すると、国語(小)及び国語(中)は全国平均をやや下回り、算数(小)及び数学(中)は下回っている。
- 2 平日や休日において、ゲームやスマートフォン等を使用する時間が多くなるにつれて、各教科の正答率が低下する傾向が見られる。
- 3 育成すべき資質・能力を明確にすることや、指導と評価の一体化を目指した授業づくりについて、意識を高めていく必要がある。
- 4 ICT機器を活用しながら自分の考えや意見を分かりやすく伝えるなど、「対話的・協働的な学び」のさらなる促進が求められる。
- 5 不登校児童生徒が年々増加し、1,000人あたりの出現率が全国や県平均を上回る傾向が見られる。

学びをつなぐ、育ちをつなぐ教育

確かな学力

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1 主体的・対話的で深い学びの実現 | 3 学力向上対策の組織的な推進による授業改善 |
| 2 学習の連続性を持たせる基盤づくり | 4 カリキュラム・マネジメントの充実 |

居場所づくりと絆づくり

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1 不登校の未然防止と早期対応 | 3 情報モラル教育の充実 |
| 2 いじめ見逃しゼロ | 4 心に響く道徳教育 |

共に学び、共に生きる教育

- | |
|-------------------------|
| 1 校内支援体制の充実 |
| 2 ユニバーサルデザインの視点による授業づくり |

健やかな体

- | |
|------------------|
| 1 体力向上と健康推進 |
| 2 教育活動全体による食育の推進 |

育ちをつなぐ学び

- | |
|-------------|
| 1 キャリア教育の推進 |
| 2 幼児教育の充実 |

手厚い支援のかねやまで、「考えよう」未来を担う子ども達

金山町教育委員会教育長 押部 秀隆 氏

4月に金山小学校と横田小学校が統合し「かねやま小学校」が開校しました。小学校の統合によって集団生活の中で多様な考えに触れることで、これからの社会を“生き抜く力”を身に付けてくれることを期待します。これにより、町内の小中学校はそれぞれ1校だけとなりました。

金山町の教育は地域一体型ふるさと教育事業の一環として、「奥会津金山学びの18年」～自然の恵みと笑顔あふれるかねやま～というキャッチフレーズのもと、保・小・中・高の教育充実と地域の教育力の再生により、将来を担う人材育成を推進しています。

今では、各市町村で当たり前のように就学支援が行われていますが、わが町では町の宝である子どもたちへの支援を平成26年度から始めています。

幼児に対して保育料はもちろんのこと、延長・土曜保育も無料としています。小・中学生に対しては学校給食費や教材費無料化及び、修学旅行費や運動着・制服の購入における費用の支援を行っています。

また、県立川口高校生には通学費の半額補助、部活動費補助や資格取得支援、さらに若桐寮・学校寮生の寮費・食費補助等の支援をしています。

このような支援を継続しつつ、金山町ならではの教育を実現すべく、次なる一手を現在のところ熟慮中です。

それに加えて、児童生徒への支援だけでなく、教える側の教師の学習指導法改善が大変重要になると考えています。

昭和50年代に始まったテレビ番組「3年B組金八先生」では、教師がクラスで起こる様々な問題を体当たりで解決していき、その姿に生徒たちが考えを改め、人間として成長していく様子を描いていました。しかし、最近のテレビ番組「御上先生」では、生徒の主体性を育むアクティブリコール式の学習や毎回繰り返される台詞「考えよう」がとても重要なキーワードとなっており、現代において求められている教育がドラマの中に反映されていました。

このように、思考を深める話合いのできる教育の実現に向け、教育行政としてさらに教育環境を整備していきたいです。



我がまちからの情報発信

西会津町教育委員会

「西会津学びあいランド」をオープン！ ～西会津ならではの学びの環境づくりを目指して～

「西会津学びあいランド」とは、隣接する西会津小・中学校の施設や設備を小・中学校の区別なく活用し、授業だけでは学べない様々な分野に対応したランドを開設し、児童生徒が「将来に夢や希望をもつことができる」「主体的に学ぶことができる」「個別最適な学び・協働的な学びができる」環境を充実させるというものです。併せて、地域に開かれた学校として、公民館講座などでも活用し、児童生徒と地域住民が共に楽しく学ぶことができる機会を創出し、西会津ならではの学びの環境にしていきたいと思えます。具体的には、「探究創造ランド」「ふるさと未来ランド」「健康スポーツランド」「世界交流ランド」「自然体験ランド」の5つのランドを開設します。

令和6年9月20日にオープニングセレモニーを行いました。「探究創造ランド」では3Dプリンターやそれを使って実際に作ったものに触れてもらったり、「ふるさと未来ランド」では町内で出土された土器や漆器などの展示により器の移り変わりを覚えてもらったり、「健康スポーツランド」ではボッチャなどのニュースポーツと和太鼓を体験してもらったりしました。その後11月末に、探究創造ランドで小学3年生を対象にした「プログラミングで遊ぼう」を始め、3学期には、ふるさと未来ランドで中学生と一般人

を対象にした「沼沢火山の噴火と西会津町」、健康スポーツランドで小学生と一般人を対象にした「ニュースポーツ体験」と、多様な学びを実施しました。

〇〇ランドという名称には、ディズニーランドのように誰もが心から楽しんで学んでほしい、という思いを込めました。「西会津学びあいランド」をしっかりと定着させ、次世代を担う子ども達一人一人が、それぞれのもつ可能性を開花させるきっかけをつかんでくれることを期待します。そして、年齢や世代などを越えた交流を通じて、積極的に社会に関わる姿勢を身に付けてほしいと願います。



ふるさと未来ランド「沼沢火山の噴火と西会津町」

令和7年度 会津教育事務所推進プラン

強 み	域内の現状	弱 み
○ 各学校で、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、協働的な学びを推進している学校が多い。 ○ 児童会・生徒会が中心となった校則の見直しなど、主体的な態度を育む場の設定をしている学校が増えつつある。 ○ 各市町村の社会教育が充実し、地域学校協働本部の設置及び学校運営協議会(コミュニティ・スクール)の導入が進んでいる。 ○ 特別支援学級や通級指導教室における特別の教育課程編成の工夫や自立活動の指導の充実に取り組んでいる。 ○ 体力・運動能力調査結果分析による運動身体づくりプログラムの全校実施(小)、授業内外の補強運動の実施(中)など、組織的な取組により、体力向上が図られている。		● 小・中学校ともに学力調査の平均正答率が低い。 ● 話合いのコーディネートが十分でない授業、振り返りの場面でねらいに沿った適切な評価がなされていない授業が見られる。 ● 不登校数が小学校で増加傾向にあり、小・中学校ともに出現率が全国・県平均よりも高い。 ● 地域社会における支え合いやつながりの希薄化により地域の教育力が低下している。 ● 個別の教育支援計画や個別の指導計画が交流及び共同学習の場で十分に活用されていない。 ● 肥満傾向児出現率が県平均よりも高い。

人間力に満ちた人材の育成 ～ 学びをつなぐ・育ちをつなぐ会津の教育 ～

<推進ビジョン> 域内の市町村教育委員会、小・中・高等学校長代表者会をはじめとする地域や関係機関と連携し、学校・家庭・地域が一体となって、人間力に満ちた人材の育成に努めます。

※人間力に満ちた人材…学習や経験から学んだ様々な力を生かして、自らの道を切り拓き、社会に貢献することができる人材

視点① 「学びの変革」の推進【施策1・2・6】

- 域内の実態を踏まえた「指導の重点」を前期・後期に作成し、学校訪問や各種研修会で「確かな学力」の向上を図るための支援を充実させます。
- 「ステップアップAizu」を開催し、具体的・実践的な授業の進め方や学習方法等の講義・演習を行い、教員の指導力向上を支援します。
- ふくしま情報モラル診断等による児童生徒の実態把握の普及とともに、ICTを効果的に活用した授業の周知、徹底に努めます。
- 各校で個に応じた指導の実現に向け、全国・県学力調査の分析・活用方法に関する研修を実施します。

視点② 人間性・社会性の育成【施策3】

- 域内シンポジウムや教育相談コーディネーター研修会等で不登校等の未然防止・初期対応の研修を充実させ、学校の教育相談体制づくりを支援します。
- 児童生徒一人一人の夢や進路実現に向けた温かみのある学級風土づくりや、主体的な生活態度の育成に向けた指導助言を通して、不登校出現率の低下を目指します。
- 道徳教育の充実を図るため、道徳推進協議会等で「考え、議論する道徳」授業の成果を普及します。

視点③ 健康・安全に関する指導の充実【施策5】

- 学校訪問等で肥満等の健康課題に対応した実践事例を提供し、保健・安全教育の充実を図ります。
- 「自分手帳」活用についての研修会で有効な事例を周知し、健康マネジメント力の育成を支援します。
- 各種研修会や学校訪問等において、各校の体力向上推進計画の見直し・改善を助言し、体力向上と運動習慣の定着を支援します。

視点④ 家庭の教育力・地域の教育力の向上【施策3・4・5】

- 家庭教育支援の充実を図るため、家庭教育支援者の養成及びスキルを高める研修会を実施し、「家庭教育支援チーム」の設置も促進します。
- 関係者間の連携強化を図るため、教職員及び社会教育関係者等を対象に「地域学校協働研修会」、「地域連携担当教職員等研修会」を開催します。
- 地域の実態に応じた、市町村公民館職員等を対象とした公民館訪問や社会教育研修会を開催します。

視点⑤ 切れ目のない支援体制の整備【施策3】

- 校内支援体制の充実と教員の専門性の向上を支援するため、特別支援教育研修会等の充実を図ります。
- 合意形成に基づく「個別の教育支援計画」の作成・活用・引き継ぎ、合理的配慮の提供によるきめ細かな児童生徒支援の充実を図るため、各園・校のニーズを踏まえた相談支援・研修支援を実施します。
- ユニバーサルデザインの視点による学級経営や学習指導の研修会を開催し、一人一人のニーズに応じた実践力の向上を支援します。

視点⑥ 持続可能な教育環境づくり【施策2】

- 教職員の心身の健康保持や児童生徒と向き合う時間・自己研鑽の時間を確保するため、管理訪問等の指導助言により「教職員働き方改革アクションプラン」に基づく取組の推進を図ります。
- 学校全体の教育力向上を図るため、校長研修会等において内容を充実させ、校長によるチームとしての学校マネジメントが機能するよう支援します。
- 域内服務倫理対策会議等、様々な機会を捉えて管理職としての危機管理意識の向上や教職員の倫理観・使命感の高揚を図る取組を支援します。

「令和7年度学びの変革推進プラン」の実現を目指す

- 施策1：「学びの変革」によって資質・能力を確実に育成する
- 施策2：「学校の在り方の変革」によって教員の力、学校の力を最大にする
- 施策3：学びのセーフティネットと個性を伸ばす教育によって多様性を力に変える土壌をつくる
- 施策4：福島で学び、福島に誇りを持つことができる「福島を生きる」教育を推進する
- 施策5：人生100年時代を見通した多様な学びの場をつくる
- 施策6：安心して学べる環境を整備する